

横浜市と道志村

横浜市の水源の一つである、山梨県道志村を源流とする道志川は、年間降雨量が多く、豊かな森林に恵まれ極めて良質な水が流れる川です。

水道局では、道志川の水質を守るために、大正5(1916)年から、道志村内に広大な森林を所有して水源林として管理しています。

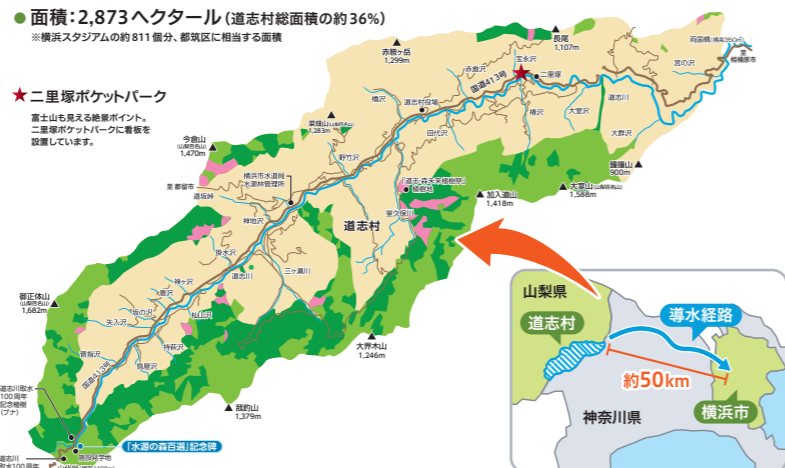
水道局所有の道志水源林

●面積:2,873ヘクタール(道志村総面積の約36%)

※横浜スタジアムの約811倍分、都営区に相当する面積

★二里塚ポケットパーク

富士山も見える絶景ポイント、二里塚ポケットパークに看板を設置しています。



天然林(1,799ha) ■ 人工林(762ha) ■ 除地(312ha) ■

水源かん養機能

森林の土壌には「水を蓄える」、「水を浄化する」、「洪水を緩和する」の3つの働きがあります。

水を蓄える

森林の土壌は樹木の葉や枝が何年にもわたって堆積し、厚い腐植層を形成します。この腐植層はスポンジのように吸湿性に富み、たくさんの雨水を蓄えることができます。



水を浄化する

森林に降った雨は、保水能力の高い森林土壌にたっぷりと吸収され、ゆっくり地中に浸透することで良質な地下水に浄化されます。



洪水を緩和する

地下水は湧き水となって再び地上に現れ、河川となります。もし山々に森林がないと、雨水は地表を一気に流れていきます。森林の土壌は、雨水が河川へ流れ出す量を調節し、洪水を緩和する機能を持っています。



道志の水が横浜にやってくるまで



道志川の水は、鮑子取水ぜきで取水し、青山沈でん池を経てトンネルや管路を通り、高低差による自然流下で29キロメートル先の川井浄水場へ送られ浄水処理されます。



企業・団体と横浜市との水源林保全活動

森と水源を守る

水源エコプロジェクト
W-eco・p
ウィコップ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本事業では安全な水へのアクセスを維持するため水源林整備を推進します。
本事業では森林減少を阻止し、劣化した森林の回復を推進します。
本事業では、参加企業・団体と水道局が協働で水源林整備を推進します。

道志村の水源林が横浜へ 美味しい水を届けています。

水源エコプロジェクトW-eco・p(ウィコップ)は横浜市水道局と企業や団体が手を携えて道志村の森と水源林を保全する活動です。

水源エコプロジェクト
W-eco・p
ウィコップ

「水源エコプロジェクトW-eco・p」とは

きれいな水を創り出す豊かな森林を育み次世代に引き継ぐために、**横浜市水道局(以下「水道局」という)が所有する山梨県道志村の水源林を、企業・団体のご寄附により整備する取組**です。

協定に基づき、原則1ヘクタールあたり年間30万円(3年間3ヘクタール以上)の水源林整備に係る費用をご寄附いただく仕組みで、企業や団体は森林の名称設定や水源林保全活動の体験など、SDGs活動の推進やPRにご活用いただけます。



参加企業・団体



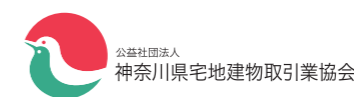
株式会社京急百貨店

プロジェクト参加第1号企業として、継続して森林整備の支援を行っています。また、お中元・お歳暮ギフトでは、支援によって認定されたCO2吸収量を活用したカーボンオフセットギフト「楽ecoギフト」の販売もしています。



株式会社ブリヂストン

「エコピアの森」活動は、従業員とその家族に間伐作業や植樹体験などを体験してもらい水源林の大切さと必要性を感じてもらっています。今後もウィコップの活動を継続していきたいと思っています。



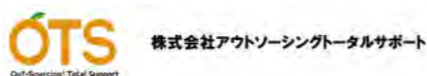
公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会

ハトマークの神奈川県宅地建物取引業協会横浜6支部は、緑豊かな住環境の創出、誰もが安心して快適に暮らせる地域社会の形成に寄与することを目的に、横浜市水道局とウィコップ協定を締結、「水源林保全活動」に取り組んでいます。



株式会社ファンケル

ファンケルでは、地元企業として、横浜市の水源地道志の森を「FANCLスマイルフォレスト」と名付け、環境保全活動に貢献しています。毎年、新入社員の環境研修では、植樹や間伐作業体験などを実施し、生物多様性の理解を深める啓発教育にも役立っています。



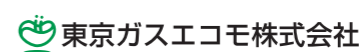
株式会社アウトソーシングータルサポート

私たちアウトソーシングータルサポートは、横浜のおいしい水を次世代に引き継ぐために、水源林保全の大切さを感じ、ウィコップに賛同しました。平成23年3月から、おいしい水を育む豊かな森づくりをお手伝いしています。



株式会社清光社

横浜に本社を置く清光社は、平成23年から水源林保全活動に賛同し、横浜の水源を守るため、ウィコップに参加しています。



東京ガスエコモ株式会社

環境にやさしいクリーンエネルギー「天然ガス」を扱う東京ガスエコモは、横浜の地域密着企業として、ガス給湯に必要な不可欠な水道水を守るためウィコップ活動を通じ綺麗な水源林の保全活動を行っています。



パシフィックコンサルタンツ株式会社

当社は2011年からウィコップに参加し、水源林保全の活動を支援しています。まちづくりに携わる当社は、事業活動すべてがSDGsと密接な関わりを持っており、豊かな森と美味しい水を守るこの活動を引き続き、支援していきます。



横浜読売会

横浜読売会では、横浜市と地域貢献活動の一つとしてウィコップに参加しています。この活動を多くの方々に知っていただくようPRも行っています。



株式会社GTアソシエーション

日本を代表する自動車レース『SUPER GT』を運営するGTアソシエーションは、環境保護に配慮したレース運営の取組として、水源林保全、地球温暖化防止に貢献することを目的に2012年から参加しています。



株式会社伊藤園

平成24年11月に横浜市と包括連携協定を結び地域に密着した取組を行っています。伊藤園は地域の水環境保全を支援するCSR活動で第17回日本水大賞(平成27年)の経済産業大臣賞を受賞しました。(主催:日本水大賞委員会・国土交通省)



横浜信用金庫

横浜信用金庫は、地域貢献活動の一環として平成25年からウィコップに参加し、「水源林保全活動」に協力しています。ウィコップの取組を通して、持続可能な地域社会の発展に貢献していきます。



株式会社ツクイ

「超高齢社会の課題に向き合い 人生100年幸福に生きる時代を創る」をグループのミッションとして掲げるツクイは、いつまでも安心して暮らせる住みよいまちづくりに貢献するためウィコップに参加し、水源林保全活動に取り組んでいます。



メタウォーター株式会社

メタウォーターは、道志村協定地に「メタウォーターどうしの森」と名付け、横浜市と「どうし」となって水源林を保全し、当社が携わっている川井浄水場セラロッカ(浄水処理)までの、水の循環を支えています。



株式会社日本ウォーターテックス

日本ウォーターテックスは、経営方針の「地球の住民として自然環境を守り、子どもたちにきれいな水源を残します」の考えのもと、ウィコップ事業に積極的に参加し、子どもたちにきれいな水源を残すために活動します。



株式会社京三製作所

当社は1928年に横浜市に本社を移転して以来、横浜とともに歩み続けてきました。大切な資源である地元・横浜の水を守るため、ウィコップの一員として、水源林保全活動に取り組んでいます。



株式会社宅配横浜

宅配横浜は、CSR活動の一環として水源林を公民連携して保全する取組であるウィコップに賛同し、森林保全作業体験や社員研修などを通じて限りある水を未来につなぐため社会に貢献していきたいと考えています。



株式会社デック

当社は「道志の森サポーター」や「道志水源林ボランティア」に参加することで、水源林の保全活動に取り組んでいます。今後もW-eco・pの活動を通じて、おいしい水を育む豊かな森を守るために、より一層の協力をさせていただきます。



中外製薬株式会社

水は、医薬品の製造にとって重要な原材料の一つであるとともに、持続的な社会に欠くことのできない重要な資源です。水を作り出す豊かな森林を育むため、ウィコップの活動を通じて、健全な水循環システムの構築に貢献していきます。



北海工業株式会社

横浜の地へ恩返しをしたいという思いから、地域社会貢献活動・環境保全活動に積極的に取り組んでいます。すべての生きものたちのいのちの源である水源林を守り、次世代を担う子供たちに森の大切さを伝えていきたいと思っています。